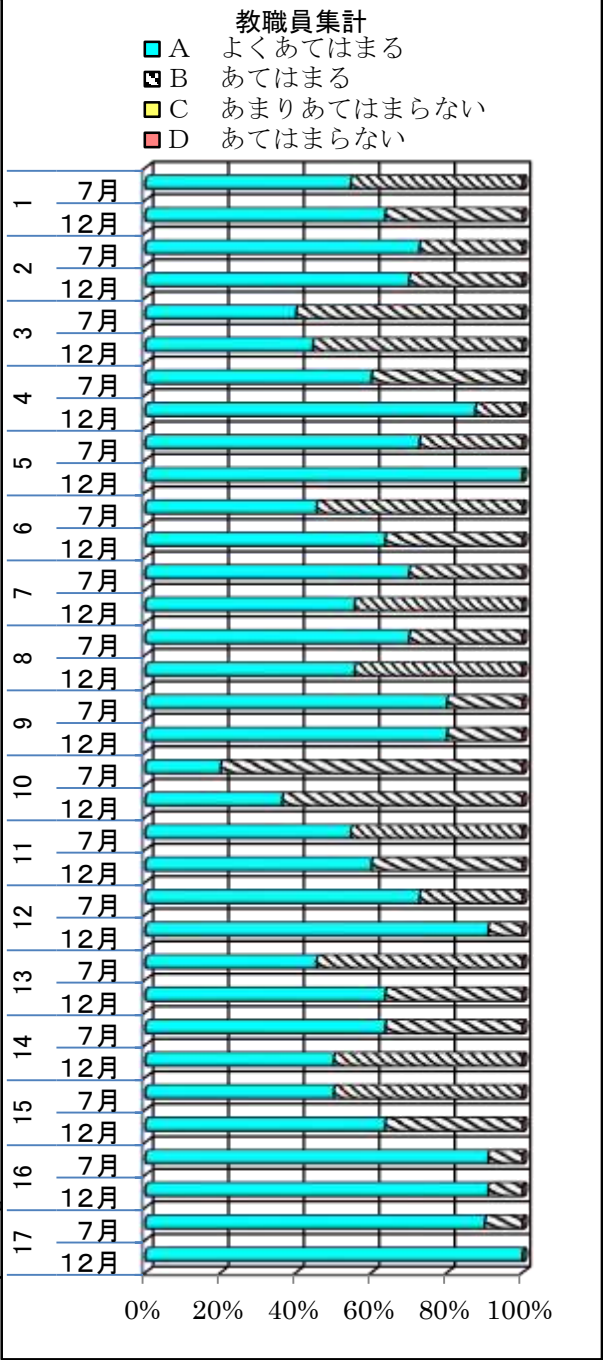
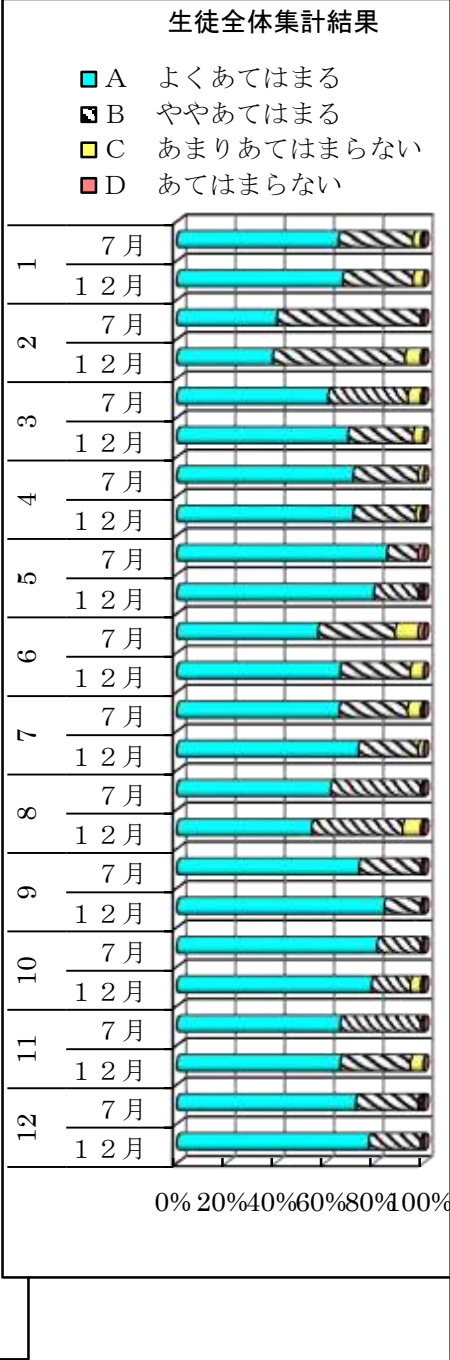
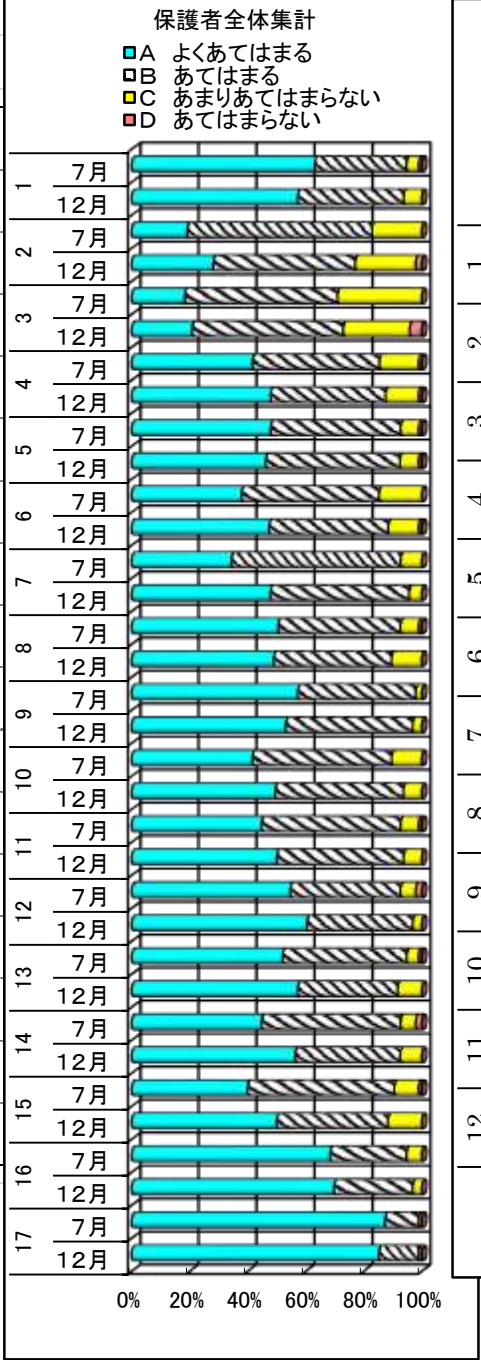


# 平成27年度（後期） 学校評価結果



猪苗代町立東中学校

平成27年度	
学校評価アンケート結果	
1	お子さんは、充実した学校生活を送っている。
2	お子さんは、「あいさつ」「身なり」「返事」「整理整頓」などの基本的生活習慣が身につけている。
3	お子さんは、授業の内容がよく分かり、授業を楽しみにしている。
4	お子さんは、家庭学習の仕方を身につけ、出された宿題や自主学習ノートをきちんと提出している。
5	学校は、平日頃から友達同士が思いやりの心を持ち、いじめや暴力が起こらないように指導している。
6	教員は、お子さん一人ひとりの悩みや相談をよく聞き、アドバイスをしてくれている。
7	学校は、お子さんの将来の進路について考えさせ、一人一人の進路が実現するよう努力している。
8	学校は、体育の授業や部活動に力を入れ、体力、忍耐力や主体性を身につけさせようとしている。
9	学校は、避難訓練を実施するなどして、お子さんに落ち着いて安全な行動がとれるよう教育している。
10	学校は、携帯電話やインターネットの危険性とその安全な使い方など、情報教育の充実に努めている。
11	学校は、生活リズム（朝食の摂取と睡眠）の大切さや自分の健康を守る（風邪や虫歯の予防）が身につくよう教育している。
12	学校は、様々なお便りの配付、保護者会や各会合の機会を通して、学校の情報を家庭や地域に伝えている。
13	学校は、学習や諸活動で使う設備や道具を調える努力をしており、学習しやすい環境となっている。
14	学校は、保護者や地域の方々が気軽に学校の授業を参観したり、行事に参加したりできるようにしている。
15	学校は、保護者や地域の願いをよく聞いて、それに応えようとしている。
16	保護者が学校に行った時や電話をかけた時、教職員の対応は 親切かつ丁寧である。
17	学校は諸会費・給食費等の徴収を厳正に行い、適正に処理している。
<p>12月に実施しましたアンケートへのご協力ありがとうございました。 結果が出ましたのでお知らせ致します。 学校としましては、今回の結果や自由記述欄に書いていただきましたご意見等を参考に今後も、今まで以上に学校の様子がご理解いただけるよう教育活動の充実を目指して取り組んでまいります。</p> <p>特に、「授業の充実」や「情報教育の充実」を中心にさらに改善を図るとともに、ご家庭に学校の姿が見えるよう努力してまいります。今後ともご意見やご希望等がございましたら、ご遠慮なく学校までお申し出ください。</p> <p>学校、保護者、地域が三位一体となって、子供たちの教育のために手を携えていけば、よりよい教育ができるものと考えています。今後ともご支援・ご協力の程をよろしくお願い致します。</p>	



## 学校評価アンケート結果と改善に向けて

### 1 集計分析（１２月に実施したものについての分析）

視 点		保護者	生 徒	教職員
$A + B < 80\%$ ↓ 改善を要する	7月	3	該当なし	該当なし
	12月	2, 3	該当なし	該当なし
$A > 70\%$ ↓ 十分達成している	7月	17	4, 5, 9, 10, 12	2, 5, 9, 12, 16, 17
	12月	17	4, 5, 7, 9, 10, 12	2, 4, 5, 9, 12, 16, 17
$A \leq B$ ↓ さらに引き上げたい	7月	2, 3, 5, 6, 7, 8, 10, 14, 16	2	3, 6, 10, 13, 15
		2, 3, 5, 7	2	3, 10, 14

※ 数字は「評価の観点（質問項目の番号）」を示す。（「評価の観点」は別紙学校評価アンケートを参照）

学校評価アンケートの結果を見ると、「保護者の2の項目：お子さんは、『あいさつ』『身なり』『返事』『整理整頓』などの基本的生活習慣を身につけている。」の達成率が、77%、「保護者の3の項目：授業の内容がよく分かり、授業を楽しみにしている」の達成率が、73%ということで80%に届きませんでした。他の項目においては、生徒・保護者・教職員ともに達成率80～100%で大変よい評価となっており、充実した教育活動が行われていると考えられます。

「2の項目：お子さんは、『あいさつ』『身なり』『返事』『整理整頓』などの基本的生活習慣が身につけている」については、学校と家庭で共通理解のもと連携を図って指導していく必要があるように思います。「あいさつ」「身なり」「返事」「整理整頓」といった基本的な生活習慣は、ご家庭での指導がかなりウエートをします。ご協力よろしくお願いします。

「3の項目：お子さんは、授業の内容がよく分かり、授業を楽しみにしている」については、前期の結果と同様でしたので、教師一人ひとりが生徒に対して、「いかに理解させるか」「分かる・できる授業をどう実践するか」に視点を置き、授業改善に努め、さらに力を付けさせていきたいと考えています。

学習面において、ご心配なことがありましたら、いつでもご連絡、ご相談ください。

「５の項目：学校は、常日頃から友達同士が思いやりの心を持ち、いじめや暴力が起こらないように指導している。」については、生徒の結果を見るとＡ＋Ｂでは、少し良くなっていますが、Ａの部分が下がってしまいました。改善していけるように教職員が一枚岩になって指導に当たっていきたいと思います。

「６の項目：教員はお子さん一人ひとりの悩みや相談をよく聞き、アドバイスをしてくれている」については、保護者、教職員共に、前期よりも、「Ａ：よくあてはまる」が増え、改善に向かっていくように思います。教育相談や個別指導、生活記録ノートを介しながら少しずつ改善が図られてきたように思います。

「７の項目：一人ひとりの進路が実現するように努力している」については、保護者と生徒においては、前期よりもＡの部分が増えましたが、教職員はＡの部分が前期よりも減りました。

３年生は進路目標の実現に向けて取り組んでいるところですので、そういったところで評価を高めたのかと思います。教職員におきましては、今回の結果を踏まえて、さらに良くなるように努力してまいりたいと思います。

「８の項目：学校は、体育の授業や部活動に力を入れ、体力、忍耐力や主体性を身につけさせようとしている。」は、保護者、生徒、教職員で前期よりも評価を下げてしまいました。これは、３年生の部活動引退が大きく影響しているものと思われます。この結果を踏まえて、部活動や体育の授業の充実に向けて、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

「１０の項目：情報教育の充実に努めている」については、前期よりも保護者、教職員共に「Ａ：よくあてはまる」が若干増えました。少しずつではありますが改善が図られてきているように思います。学校としましては、できるだけ携帯電話を持たないようにと、生徒に指導しているところですので、ご理解をいただきながら、ご協力していただければと思います。

持たせている場合には、使い方や家庭でのルールを決めて、安全に使用するよう指導していただければと思います。

「１２の項目：学校は、様々なお便りの配付、保護者会や各会合の機会を通して、学校の情報を家庭や地域に伝えている。」については、保護者、生徒、教職員のすべてにおいて前期よりもよい結果となりました。これからも学校だよりや学年だより、保健だより等を通して、情報を発信していきたいと思います。

「１４の項目：気軽に授業参観や行事に参加できるようにしている」については、教職員の「Ａ：よくあてはまる」が前期より下がっていますので、改善に向けて協議していきたいと考えています。

「１５の項目：保護者や地域の願いに応えようとしている」については、保護者の皆様には、学校の対応に関してまだまだ努力が必要であると叱咤激励をされているように思います。今後とも保護者や地域の皆様の願いにこたえられるよう努力していきたいと思います。

「１６の項目：保護者が学校に行った時や電話をかけた時、教職員の対応は、適切かつ丁寧である。」と「１７の項目：学校は、諸会費・給食費等の徴収を厳正に行い、適正に処理している。」については、おおむね良好ですので、今後ともよくするように努力していきたいと思います。

保護者の皆様に気軽に学校に足を運んでいただけるよう、さらに工夫を凝らし東中ならではの魅力ある教育活動を展開していきたいと考えております。また、学校や生徒の様子を学校だよりや学年だより、ホームページに載せるなどしてお知らせしているところですが、さらに内容の充実を図り、タイムリーに情報をお伝えし、開かれた学校づくりに努めていきたいと思います。

ご意見、ご要望がありましたら、いつでも学校の方までご連絡ください。

## ２ 保護者様の意見や要望について

- (１) 東中学校に行く度に思う事は、生徒さんたちの「あいさつ」がとても素晴らしいという事です。とても気持ちが高く、又、こちらも背筋がピン！とする思いです。子供の気持ちに沿い、親身になって支えてくださり、ありがとうございます。

⇒ ありがとうございます。常にそう思っただけのように、教師と生徒が丸となって明るく元気な挨拶が自然と飛び交う学校を目指していきたいと思います。

- (２) 今年もひいらぎ祭では、子供たちの一生懸命な姿を見ることが出来ました。先生方の合唱も良かったです。学校全体で取り組んでいる様子がわかり、子供たちもよい体験をすることができたと思います。

⇒ ありがとうございます。今後も子供たちが生き生きと活動ができるように支援していきたいと思います。

- (３) 学校へ行く機会が少ないせいか、活動面（授業等）や部活に関しては子どもから聞く情報でしかない。難しい年頃でもあるため、もう少しオープンに情報を得られれば心のケア等、子どもをサポートできると思う。

制服に白ソックスは不自然に感じている。黒ソックスにしてはどうか…なぜ白なのか？

⇒ 学校の様子を学校だよりや学年だより、保健だより等でお知らせすると共にホームページにも各行事を載せているところですが、まだまだ情報が伝わっていないようです。何かお困りの場合には、学校までご連絡をいただければと思います。よろしくお願いします。また、子供たちは難しい年頃になってはいますが、ぜひとも親子で時間を見つけて、将来のことや学校のことなどについて話す機会を設けていただければと思います。

制服の白ソックスを不自然に感じられているようですが、中学生の靴下は、県内のほとんどの中学校で白を基本としています。ご理解のほどをよろしくお願いします。

- (4) 朝の車での送迎の際に危険を感じることもあるので、車の乗り入れについて、再度通達してください。

⇒ 校舎南側については、朝の車の乗り入れは、一切禁止ですので、ご協力よろしくお願いします。

下校の際には、バイパス側から一方通行での乗り入れとなりますので、ご協力よろしくお願いします。

- (5) 小学校時代に一生懸命頑張ってきたバスケットができない事が残念です。

⇒ 部活動については、現在4つの部（陸上競技部、野球部、バレーボール部、卓球部）で実施しているところです。少子化の影響でこれから生徒数が減少することを考えますと、部活動を増やすことは、難しいのが現状です。ご理解していただきますよう、よろしくお願いします。

仮に新たな部を開設するとなれば、4つの部のどれかを廃部にせざるを得ません。どの部も歴史と伝統があり、難しい問題です。

- (6) 中学生になると、子どもの行動が読めなくなってくるので、学校の様子を教えて頂く機会が増えればな、と思います。なかなか忙しくて予定を取りづらいので、授業参観などもう少し早くお知らせ頂けるとありがたいです。今後娘が過ごしやすい学校生活であるように願っています。

⇒ 貴重なご意見をありがとうございます。(3)でもお答えしましたが、学校の様子をさらに詳しく紹介できるように工夫していきたいと思います。

授業参観のお知らせは、その都度出していましたが、3～4週間前には、お知らせしていきたいと思います。4月に実施していますPTA総会の資料に年間行事計画を入れていますので、そちらでご確認していただき、計画を立ていただければと思います。PTA総会時にも紹介していきたいと思います。

(7) くつ下を白でなく色(紺や黒)付きでもよいかと思います。(してほしい。)ポロシャツを速乾性のものにしてほしいです。(毎日洗濯しますのすぐかわくもので)

⇒ (3)でもお答えしましたが、県内のほとんどの中学校で白ソックスを基本としておこなっております。ご理解していただけますようよろしくお願いします。  
ポロシャツの件につきましては、制服業者に希望をお伝えしたいと思います。  
貴重なご意見をありがとうございました。

(8) 部活動ですが人数が少ないので、なかなか成り立たなくなりつつあるので、陸上部を特設にして他部の強化、又は小学校よりスポ少で続けられるようバスケット部復活を希望します。文化部があってもよいと思います。とにかく今後、子どもの数を考えても部活動の編成について考えていかなければならないのかと思います。(他校と合同なども必要になるようだと)ご検討をお願いします。

⇒ 貴重なご意見ありがとうございます。(5)でも同じような質問がありました。難しい問題ですので、今後、学校やPTA本部等で話題にし、慎重に検討していきたいと思います。

(9) いつも子どもがお世話になり感謝しております。先生方の温かい言葉がうれしいです。

⇒ これからも全職員で子どもたちの意欲がわくような言葉かけや声かけを心掛け、取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。

### 3 学校評議員から

学校評価結果を見ていただき、学校評議員からご意見をいただきました。

(1) グラフについて

① 教職員は自信を持って授業で対話しながらスキルを磨き、プロとして自覚と責任を持ち、その中で生徒の将来を見据えた指導力が伺われます。

保護者は「あまりあてはまらない」意見が多く、我が子への不安が感じ取れます。

生徒たちは「よくあてはまる」の意見が多く、努力が見られ、意欲と積極性が見られます。常に進歩していると感じます。

② 保護者と生徒の集計結果は7月と12月を比較してほとんど変わっていないが、教職員はチョット差異が見受けられた。



- ③ 「2の項目」と「3の項目」については家庭での学習する場所、整理等が小学校の時から変化なく意識の持ち方を急に改める（変える）切換え作業が出来ないことも要因の一つかと思われる。

中学生になると自分の空間がほしい。無い人にしてみれば、あればそこで机に向かって勉強がいっぱい出来るのと思う。無くても工夫している子供も居ると思うので、基本的なこと（子供の心理面からも）なので、クラスの中でホームルームの時間でオープンに生徒一人ひとりに話をさせ、今後対応策の考えも聞き出してみてもどうか。（同級生の内容とか工夫を家庭に持ち帰って話し合い対策につながるかと思います。）すべて会話からスタートとの考えからの意見です。

## （2） 学校評価結果の集計分析について

- ① 生徒と教職員は十分達成している項目が多くこれからの学習能力が伸び、いじめへの対策もなされていると思います。

保護者は「改善を要する」「さらに引き上げたい」と「2」と「3」に達成することを願っています。我が子を見守る親のまなざしは真剣であり、家族の和や子育ての手腕が問われると思います。

- ② 項目が細部に渡り、きめ細やかな項目なので、大変わかりやすいと思います。

- ③ 4の項目：「お子さんは、家庭学習の仕方を身につけ、出された宿題や自主学習ノートをきちんと提出している」の問いに保護者50%弱 生徒は60%弱 教職員は80%（12月）となっている。このことは他の問いにも当てはまる部分がある。

- ④ 分析表でA>70%十分達成している 保護者1項目 生徒7項目 教職員8項目となっているが、当然の結果のような気もする。

## （3） 保護者様の意見や要望について

- ① 保護者は、難しい年頃、子供の行動が読めなくなっているなど、成長を願いながら「これでいいのかな？」と子育てに常に悩む姿が見られます。

人生の先輩として学校の方でも機会があれば「親育て」のアドバイスを願いたいと思います。

- ② ご家庭でのふれあいを、少しでも、ほんの一言でも、意識して過ごす時間を確保してください。

- ③ 全体的に意見・要望がちょっと物足りないというか、（3）や（6）のように学校での子供の様子を問う意見が少ない。

逆に学校からは、学年だよりなど各種の配布物やホームページでの情報を発信しているのに保護者には十分伝わっていないようにも感じた。